

自治基本条例（仮称）に関する懇談会 傍聴者アンケート
第7回実施分（平成29年5月30日開催） 自由記載欄

- 今回の懇談会で印象に残った、または興味のある議論や課題がありましたら記入してください。
- ・ 「協働」という言葉にある深い意味。市民と市政の関係性等、興味深い議論でした。実際、同じ市内、町内同士が行事等で被害者、加害者に（故意ではなくても）なるケースがありえる中で、市民参加をどう保障していくか、非常に大事だと思います。
 - ・ 「協働」の定義、前提となる信託の関係、背景として「官から民へ」という構造の変化等々、もっと大勢の市民が相互に議論し、深めていただきたいテーマです。
 - ・ 協働事業には、PFI/PPP も入るのでしょうか？松下理論は、やや誤解曲解されている部分もあるのかな…と感じました。
- その他、ご意見・ご感想などありましたら記入してください。
- ・ 先日の議会基本条例意見交換会に参加して、市民参加の街づくりについて、深く考えさせられ、勉強させていただきました。仕事の関係でなかなか伺えないのですが、より良い、邑上市政らしい、自治基本条例ができることを期待しています。
 - ・ 専門領域になって議論のポイントがずれてしまうと、公募市民の方も発言がしにくいように感じられました。

（※文字及び文章はアンケートに記入されていた原文のまま記載しています。）